

「玉名に住みたい、住み続けたい、私たちが帰って来たい玉名を創る」

令和6年度

玉名未来づくり研究所

少子高齢化、気候変動。変化が激しい時代です。たくさんの課題がある今、若者が集まり、未来を共に考え実践し、魅力的なまちづくりをおこなうプログラムです。

まちづくりをみんなで考え実施し市長に提言します



あなたの想いからはじまる未来

募集締切

6月24^(月)日

■ 日程 土曜日 原則：午後1時30分～午後3時30分

第1回 7月20日
玉名市文化センター

第5回 10月19日
研究 Day & Week

第2回 8月24日
玉名市文化センター

第6回 11月2日
玉名市文化センター

第3回 9月7日
玉名市文化センター

第7回 12月14日
玉名市役所 4階

第4回 9月28日
玉名市文化センター

第5期研究生募集

第2回
ゲスト

やめスマ研究所

YAME CITY SMILE LAB

やめスマ研究所は、福岡県八女市で活動する「未来の八女の姿を、みんなで考え、実際に行動していくためのきっかけづくり」を目的とした団体です。地域エネルギー会社と仕事づくりで八女の未来を明るくするために奔走中です。

やめスマ研究所 所長
宮崎 悠輔さん



- 7回講座です。可能な限りすべての回へご出席をおねがいします。
- 各回には宿題があります。宿題はメールもしくは、市ホームページに掲載いたします。
- 申込に関する詳しい内容については、次の二次元コードから市ホームページをご覧ください。

- 高校生等から20代の若者
- 玉名市在住者
- 近隣市町村から玉名市に通学・通勤する、玉名に愛着のある高校生や大学生等

▼このような方におすすめ

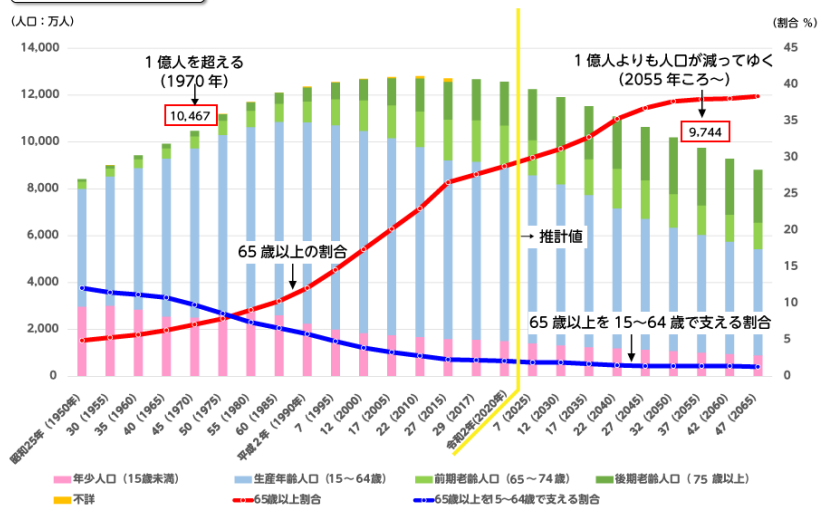
まちづくり、地方創生、人口減少、地域社会、対話と実践、地域循環共生、サーキュラーエコノミーなどに興味がある方

問い合わせ・申込先：玉名市地域振興課 TEL 0968-75-1421 E-mail chiiki-s@city.tamana.lg.jp



さけられない人口減少・縮小する街＝だから地方創生を

高齢化の推移と将来推計



出典: 内閣府 HP (https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2021/html/gaiyou/s1_1.html) より作成

避けられない人口減少

これから人口が急激に減少します。玉名だけでなく多くの地域でそのような現象が見られます。人口減少により資本力の低下、担い手不足等が顕著になり、「今日出来ていたことが明日には出来なくなる」そんな状況にあります。

私たちの未来が、今よりもっと住みやすい地域にするためには、どのようなことを考えていくとよいのでしょうか。

一緒に研究していきましょう。

玉名未来づくり研究所の特徴「高校生版地方創生」を体験できる

1. 地域づくりの実践者に話を聞く

研究所では、実際に地域を豊かに、活力を作りだしている先駆者の話を聞くことができます。今年度は、地域エネルギー会社と人材紹介サイトの運営を行いながら、地域の課題解決をしている「やめスマ研究所」（福岡県八女市）をお呼びして、どのような考えでなぜ始めたのか。そして八女市にどのような変化が出ているのかを聞くことによって、本市に何が必要なのかを考えていきます。

2. やりたい事をやる

研究所のミッションは「玉名の活力づくり」。地域の活力に繋がるものであれば、どのような内容にするかは自由です。とはいっても、一人で研究をするのは大変。そこで研究所では、参加者のテーマの中から一緒にやりたいメンバーを募集し、そこでテーマごとの班に分かれて研究と実践を行ってもらいます。



3. 社会的解決法を小さく実践する

いま、玉名市内には社会的課題をビジネスで解決している事業者が生まれています。私たちが未来がもっと豊かなものとなるために、どのような取り組みが必要になってくるのでしょうか。実践者と共に街をフィールドに、小さな実践を行うことによって、より具体的な課題を発見することができます。

学びをもっと深めるため（メンター制度）



元熊本県立大学総合管理学部
教授 津曲 隆 先生

研究や探究を行う際、どのように研究・探究をしたらよいのか戸惑い、悩みながらすることになります。そのようなみなさんの探究をより深めるために、メンターをお願いしています。メンターは、昨年まで熊本県立大学総合管理学部で教鞭を取られていた津曲隆先生にお願いしています。

（現在、福岡大学・熊本県立大学 非常勤講師）ももとは情報学の専門ですが、長年本市の地域づくりにもご尽力をいただいております。

進学（特に大学）の際の相談などにものっていただけます。

これまで未来づくり研究所が取り組んできた成果



◀ JR玉名駅待合室リニューアル

JR玉名駅は県内7位の乗車人数を誇り、多くの学生が利用する駅です。一方で、玉名市内には学生が勉強したり談笑する場がありませんでした。研究所でそのことをJR九州に相談すると「待合室にイスと机を置き、列車を待つ時間に活用してほしい」ことになり、手作りのイスと机を作成。できたファニチャーはJR九州に寄贈する形で、現在使われています。

高校生が気軽に利用できる まちばの勉強室「HOME」誕生 ▶

研究所の取り組みを知った千葉県のIT会社「フューチャーリンクネットワーク」が、高校生の役に立ちたいと、だれでも気軽に仕事や勉強などができる施設をつくりました。

学生であれば1回110円で利用できます。（営業時間11:00～19:00）静かでアクセスしやすい場所で、友達と勉強等をしてみませんか。また研究所で、この場所を研究してみる（使い方提案）ことも可能ですよ。



◀ 市の魅力を伝えるために 魅力発見ツアーをプロデュース

「玉名市は農業が盛んな地域であるにも関わらず、農業の魅力が伝わっていない」という課題に気づいた研究員は、玉名市の魅力を伝えるための仕組みとして「魅力発見ツアー」を検討しました。

実践の場では、市の特産ミカンの収穫体験や、子どもが遊べる施設などを体験できるコースを設定。参加者は「なかなか日頃、知らないところを利用でき、市の魅力が伝わった」と大好評でした。

その他にも、市の「まちづくり計画」に高校生の案が反映されるなど、大きな成果が生まれています。若者の声が、玉名を面白く活気のあるまちに変化を与えています。

玉名未来づくり研究所の参加すると...



いま地域活動で学んだこと経験したことが、とても重要な意味を持つ様になりました。例えば、進学や就職の際にはアピールポイントにもなります。

また研究所は、他校の様々な学生が集まります。多様な考えのなかで自分の考えを深めることに繋がったり、市のバックアップのもと、活動ができることによって、より深い体験となります。

さらに、研究所長（市長）に提言することが出来、市の施策として採用される可能性もあります。

募集要項

■参加費：無料

■募集人数・対象：20名程度

- 高校生・大学生
- 29歳以下の玉名市に愛着を持つ方

■参加締切...6月24日（月）

募集延長しました。

※定員に達し次第募集を締め切ります。

■受講お申込み

【E-mail】

chiiki-s@city.tamana.lg.jp

氏名、学校名（所属）、学年、連絡先
（携帯番号、Eメールアドレス）、住所・生年月日※1

※1：屋外での調査や作業などがありますので、参加者全員に保険を掛けさせていただきます。そのため事前に生年月日を頂いております。なお下宿をしている場合は、住んでいる場所及び実家の住所を記入してください。

※参加者のみなさんには、出席に応じて参加証明書を発行いたします。（A入試等にお使いください）

【ご参加にあたって】

2020年から開催している「玉名未来づくり研究所」は、変化が激しく予測が付きにくい時代の中で、地方都市としていかに豊かな生活をしていくのかを議論し、形にしていく「まちづくり塾」です。これまで、多くの高校生や大学生が、自分たちの生活環境を見つめ、様々な提案をしてきました。今年度から、さらに踏み込み、実際に街に関わりながら、魅力的なまちづくりができるスキルを身に付けて、一步を踏み出すカリキュラムとしています。ぜひ、「みんなで住みやすい玉名市」を創るために、あなたの考えを聴かせてください。そして一緒に盛り上げていきましょう。

玉名はもって
面白くなる！



未来づくり研究所 所長：藏原隆浩

■カリキュラム内容 午後1時30分～午後3時30分（程度）

回数	期日	内容	場所
1回目	7月20日（土）	対話（ダイアログ） チームビルディング	文化センター大研修室
2回目	8月24日（土）	どんな街にしたい？ →あるべき玉名の姿、自分たちの暮らし	文化センター大研修室
3回目	9月7日（土）	まちの姿を見る、フィールドワーク	文化センター大研修室
4回目	9月28日（土）	実践活動に向けて策を練る	文化センター大研修室
5回目	10月19日（土）	実践活動 研究Day & Week	文化センター大研修室
6回目	11月2日（土）	研究発表づくり（提言書づくり）	文化センター大研修室
7回目	12月14日（土）	玉名未来トーク ※所長（市長）への研究発表	市役所 4階会議室

■研究Day & Weekとは

“研究Day & Week”は、参加者が地域・街に飛び出し、実践を行い、地域の皆様からフィードバックをもらう場です。どのような中身にするのかは、参加者がチームで考えます。※原則営利販売は行いません。ただし非営利目的で必要経費等を獲得するのは、その限りではありません。

■未来トークとは

玉名市内の高校や大学、そして未来づくり研究所参加者が、玉名市長（未来づくり研究所所長）や行政職員等の前で自分たちの研究や探究、そして取り組んだことなどを発表する場です。